

県教育委員会指定「へき地・小規模校教育」研究協力校
研究公開アンケートについて

瀬戸内町立油井小中学校

1 回答数 21 件

参考：参加者数（来賓 7 人含む）・・・85 人 内訳/学校職員・・・69 人 一般・・・16 人

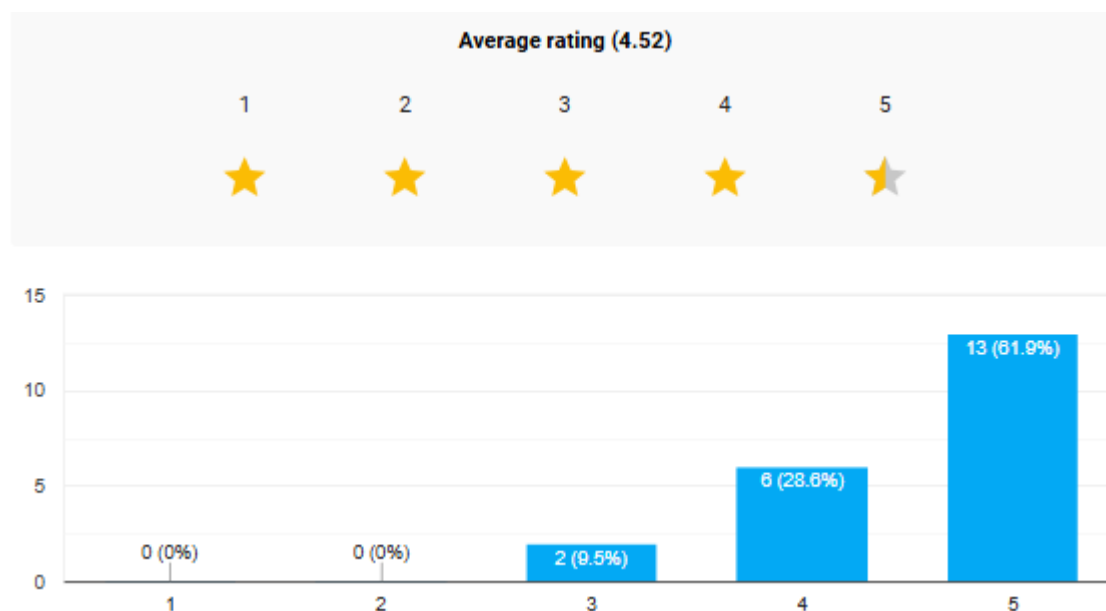
2 回答方法

Google Form

3 回答内容

(1) 公開の満足度 4.52

（1 全く満足していない 2 あまり満足していない 3 どちらともいえない 4 やや満足 5 非常に満足）



(2) 感想・意見等 ※ 記述については、回答者の入力どおり記載しています。

1 本校研究に対する御意見・感想等	
1	画期的な研究公開をありがとうございました。やはり今後の研究公開は、子供達が「学習者主体」であるように「教職員主体」であるべきだと改めて思いました。 研究協議で教職員、地域の方々が自信をもって話をされている様子から、この研究公開に向けて取り組まれたことで、それぞれの方々の成長につながったのではないかと思います。その姿は必ず子供達にも前向きな影響を与えます。 今後も油井小中学校の皆様のご活躍を祈念しております。素晴らしい研究公開をありがとうございました！
2	素晴らしい公開をありがとうございました。古仁屋小勤務時に、〇〇兄妹の担任をしていました。子どもたちの成長した姿を見られてうれしかったです。極小規模校だからこそできる強みを生かした内容。現

	在の勤務校も、完全複式になっていくので、今回学んだことを持ち帰り、職員間で共有して、油井に負けない子どもたちを育てていきたいです。
3	児童生徒の生き生きとしてのびのびとして楽しそうなのが印象的でした。ありがとうございました。
4	複式解消のオンラインは、これからますます他の地域でも必要になってくると思いますので、メリット、デメリットをまとめていただいて、よりよい手立てがとれていけたらいいなと思いました。ありがとうございました。
5	子供たちも一緒に研究協議に参加するなど斬新で、学ぶ側の生の声を聞けてよかったです。またオンライン授業も大変参考になりました。課題も多々あるかと思いますが、本校でも検討できたらと思います。
6	開催形態が画期的。参加者にとって幅広く学び取れる。 オンライン学習について。今後このような授業は極小規模校の不足を補う具体的な答えの一つだと感じた。当日までの会場づくり含め、指導されていた先生方の工夫に感動した。学年1人在籍の中で協働的な学びを図るとはいっても、指導の前例が少ない。そんな中でのオンライン学習は、否定的な意見も多いが、情報社会を生きていく子供のことを考えるのであれば、挑戦しないよりは遥かに良いだろう。 探究の発表について。 学びのサイクルの説明があったが、本当に重要なことだと思う。なぜなら、社会に出てからだと、自分で課題発見・解決型の学びを繰り返すことの方が多くなるからだ。今のうちから子供達に身につけておきたい力だと改めて思った。また、郷土の食物をテーマにした視点も良かったし、二年目やその後、子供たちがどんな課題設定で頑張っていくのかが、とても楽しみになった。発表事例を手本に、本校でも探究に取り組みたい。 児童生徒会について。 子供が発表に加わるのもとても良かった。縦割り教育のよさを感じた。縦割りで異年齢と密に関われる点は、小規模だからできる取り組みの筆頭である。この辺りのよさを伝えるために、学校サイトで、子供のページを作って運営を任してみたり、インフォグラフィックにしてサイトに掲載したりするも外部へのPRになって面白そうだった。 各ブースについて。 どこも魅力的で、全て回りきる前に時間になったほどであった。各ブースでの質疑の結果を分析して一覧で頂きたいとさえる。ブースに分かれるまでの、研修係の先生の説明がわかりやすかったので、うまくいったようにも思う。ありがとうございました。
7	小規模だからできる、小規模校の強みをたくさん感じる事ができる時間でした。ありがとうございました。

8	会場校を始め、様々な学校の先生方と交流し、次の連携へと繋げることができそうだと感じました。油井小学校の先生方ありがとうございました。
9	総合的な学習の時間において、子ども一人一人の「知りたい」「やってみたい」という思いを大切にしたい探究的な学びを積み重ねているなと感じました。極小規模の学校だからこそ、教職員が子どもの思いや変容を丁寧に見取り、対話を重ねながら学びを深めている様子がびしびし伝わりました。 地域の方々との関わりを生かし、少人数ならではの密な関係性の中で、子どもたちは主体的に課題を設定し、自分の考えを表現する力を伸ばしているのだらうと勉強になりました。規模の小ささをハンディと捉えるのではなく、強みとして生かしながら、探究の質を高めようとしている教職員の皆さんに感服しました！！
10	ブースに分かれて聞くことができたので、新鮮だったし、興味のあるブースにどっぷり浸かれてよかったです。
11	昨年度、田検小学校の公開に行きました。奄美大島の研修会に行くのは、今年度で2度目となりますが、小規模教育のメリットを多く感じられました。特に、子どもたちがハツラツとしており、先生方が少ない人数でも手厚い支援をされている様子が伺えました。研修会の準備等、お疲れ様でした！
12	オンラインの授業風景を参観できて良かったです。極小規模校の学習方法の可能性をいろいろと考えることができました。また、探究的な総合の学習の取り組みも勉強になりました。子どもたちが主体的になって活動する総合を自分の学校でもしてみたいと思いました。
13	昨年度まで一員だった事で把握している児童生徒の状況と、今回の子どもたちの発表や授業の様子、そして本研究公開までの油井校の歩みを想う時、一員でいられた事を有難く思うと同時に、ココで得たものを現籍校では、違う姿にカタチを変えて表せていない悔しさと、今回追い込まれている状況への打開を今日からでも行動し、トライ＆エラーし続ける事を改めて誓う。その為にも思い切って参加してよかった。極小規模校だから「出来る」事を、日常の姿として見せ付けた今日の公開は、私が小規模校で教諭として働く事を決めて2校目以来、粘り続けてきた事の終着点が観られた想いがしました。油井校まで辿り着けてよかった。ここからは、現籍校で自分が出来ることへ注力し、理科への向き合い方を自他共に問う作業と、特別支援教育とは何か？に対する答えを探し、生徒の自立に伴走者として在り続ける覚悟を決めた、そんな日になりました。ありがとうございます。
14	子ども達の頑張りを見ることができて嬉しく思いました。小規模校ならではの機動力を活かして横断的な指導計画が立てられ、実践できている活動例でした。安心して失敗できる環境づくりが素晴らしいです。今回の公開で、子ども達が自信をもち、益々成長することを楽しみにしています。
15	小規模だからこそできる子ども主体の実践、とても参考になりました。子ども達の生き生きのびのびした姿が印象的でした。ありがとうございました。
16	小規模校ならではの取り組みを知ることができました。特に総合的な学習においては、自分たちで考え実行し、ふりかえる力を身に付けさせるために、探究の活動が非常に重要だと感じました。
17	小規模校における、細やかな、子どもに寄り添った実践を学び、大変勉強になると共に、どこか油井小中学校の先生方を、うらやましく思う自分がいました。また、手作りのお菓子やたんかんによるおもてな

	しも大変うれしかったです。たんかんは、一個を家族で分け合い、大絶賛でした。ありがとうございました。
18	少人数教育の大変さと先生方の工夫がとてもよく分かり勉強になりました。総合のドラゴンフルーツ栽培は奄美らしくてとてもよいと思いますが、あまり実らなかったとすると、子どもたちが思い描く販売まで考えると、もっとたわわになるフルーツや野菜こそ油井小ならできそうだなと思いました。
19	小規模校の中で、真っ直ぐに頑張る子供達の姿を見られて懐かしい気持ちになりました。小規模校ならではの良さを活かした教育がなされており、大変勉強にもなりました。
20	子どもたちが生き生きと学習している姿が素晴らしいと思いました。学校として、子どもをどのように育てていきたいかという学校経営方針を、職員皆さんがよく理解されているのではと感じます。他校とのリモートによる授業は、まだ課題もありそうですが、Try することが次につながると感じます。大きなモニターやスピーカー・マイクの性能を上げるとより交流がしやすそう。そこは、町に頑張ってもらいましょう！おつかれさまでした。
21	総合の発表を通して、先生方の働きかけもよく見えましたし、それが子どもたちが自主的に活動につながっており、勤務校にも活かしたいから大変参考になる内容でした。 ありがとうございました。
2 指導助言に対する御意見(抜粋)	
1	指導助言の中に、「公開リーフレットを生成 AI で処理したら1ページになった」ということを言われたが、研究をしてきた学校にあまりにも失礼だと思った。便利だと言うことを伝えるにも、それなりに工夫と労力を使ったリーフレットだと思うので、どの立場で指導しているのか残念である。
2	指導助言の指導主事の生成AIの部分は、油井小中学校と児童生徒に礼を失する内容であると感じる。研究校への敬意が感じられなかった。
3	指導助言の内容が「へき地・小規模校教育」のテーマにそぐわなかった。学習者主体の授業や新学習指導要領の改定ポイントが大切な情報と思うが、それらを時間を使って話す場ではないと思った。
4	県教委の指導助言から、県教委は、へき地・小規模校教育に関する指導力が乏しいのではと考えました。今回の研究公開では、どこを切り取っても「少人数だから」ということが根底になっていた気がします。県教委がこのような小規模校教育を広めないといけないのではないのでしょうか。他のへき地教育の研究公開は、複式授業の在り方に偏り過ぎていると、今回、実感しました。